

福岡県の令和4年度当初予算に関する要望書

令和3年9月

北九州市議会

北九州空港機能強化・利用促進特別委員会

北九州空港機能強化・
利用促進特別委員会

委員長	中村義雄
副委員長	渡辺徹
委員	井上秀作
委員	中島慎一
委員	金子秀一
委員	木下幸子
委員	世良俊明
委員	大久保無我
委員	高橋都
委員	荒川徹
委員	日野雄二
委員	戸町武弘

北九州空港のコロナ禍からのV字回復、滑走路延長の早期実現により、福岡県のさらなる発展に寄与していくための支援について

福岡県と北九州市は、「福岡県の空港の将来構想」（平成26年策定）の下、「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」による県全体の発展に向け、協力して取り組んできました。

現在、激減している航空需要のV字回復を果たすためにも、また、貨物拠点化を力強く推進し滑走路延長の早期実現を果たすためにも、県・市が連携した取り組みの強化が必要です。

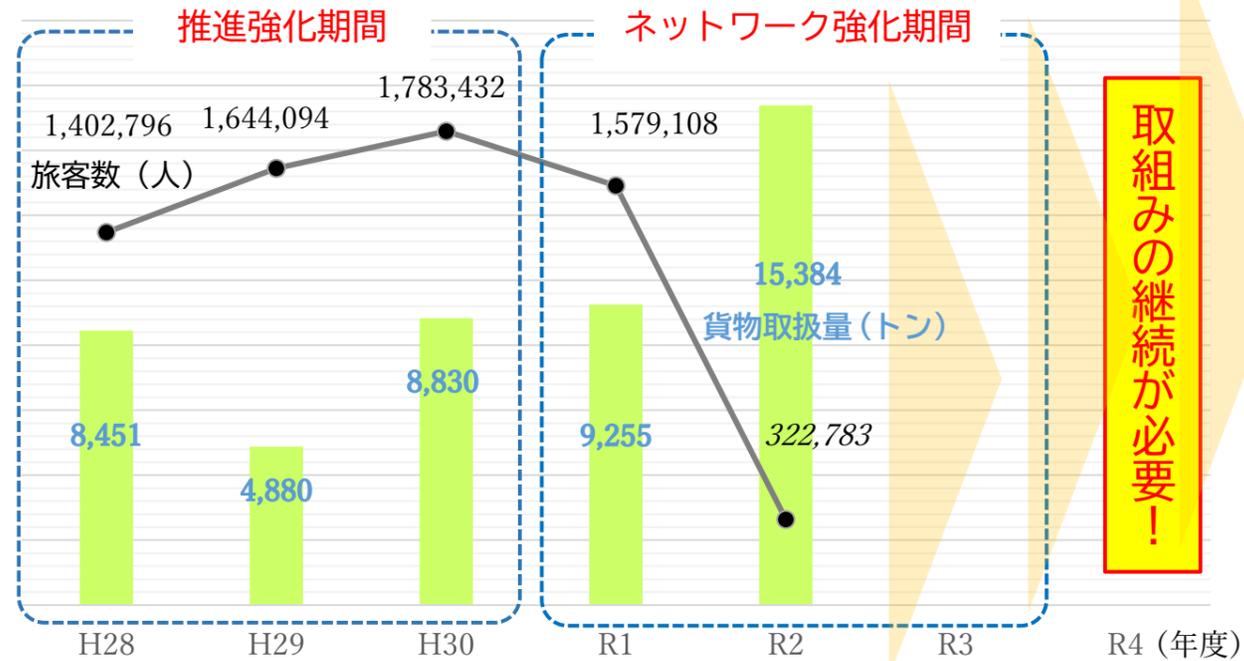
つきましては、次の事項について格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 福岡県と本市が連携して取り組んできた「将来ビジョン推進強化期間」や「ネットワーク充実強化期間」においては、北九州空港への新規路線の就航、利用者数の増加など多大な成果を収めてきました。
現在の「ネットワーク充実強化期間」は今年度末で終了予定ですが、引き続き空港や航空会社を強力に支援していく必要があることから、来年度以降も「強化期間」を継続してくださるよう強く要望します。
- 2 現在、北九州空港への旅客・貨物便の誘致等に当たっては、福岡県と本市が協力して各種支援策を実施しています。
これらの支援策は必要不可欠であることから、新型コロナウイルス感染症対策に係り、福岡県においても厳しい財政状況にあるものと考えますが、引き続き、当支援策に係る予算を確保してくださるよう要望します。
- 3 旅客路線については、コロナ禍の影響により北九州空港への就航路線・利用者数が大幅に減少しており、これらのV字回復を図るためには、さらなる支援の強化が必要です。
ついては、コロナ収束後、早期の航空ネットワークの再構築を強力に進めるための支援を強化してくださるよう要望します。
- 4 北九州空港の貨物拠点化を推進し、滑走路延長を実現するためには、国際貨物の需要拡大の動きを捉え、国際貨物取扱量を着実に増加させていくことが大変重要です。
ついては、3年連続で過去最高の取扱量となっている国際貨物の取扱量を更に増加させ、航空貨物路線の維持、拡大に係る支援を拡充してくださるよう要望します。

県市が連携した北九州空港の取組と今後の方向性について

〈旅客・貨物取扱量の推移〉



今後の取組

〈旅客〉

令和4年度からの3か年をコロナ禍からのV字回復を図る「強化期間」として位置付け、早期の航空ネットワークの再構築を強力に進めるための支援を強化する必要がある。

コロナ禍からのV字回復

〈貨物〉

令和3年度から3か年の貨物取扱「強化期間」の取組として、過去最高となっている国際貨物の取扱量を更に増加させ、貨物定期路線の維持、拡大に係る支援を拡充する必要がある。

定期貨物路線の維持と拡大

【これまでの取組】

- 平成28年度～平成30年度 「北九州空港将来ビジョン推進強化期間」
- 令和元年度～令和3年度 「北九州空港のネットワーク充実強化期間」

【旅客便の現状】

旅客便については、令和元年度末からの新型コロナウイルスの世界的な感染により、国際及び国内の航空路線は大きなダメージを受けている。現状においても国際線の路線再開の見通しが立たず、国内の主要路線である羽田線においても減便が続いている状況。

【貨物便の現状】

貨物便については、大型貨物専用便の新規就航、世界的ハブ空港との往復による輸出入貨物の増大など、貨物拠点化が大きく進展した。航空貨物の急速な増大により、北九州空港の貨物上屋の増設や通関体制の確立など、新たな課題の解決に取り組むこととなった。

【今後の方向性】

「北九州空港のネットワーク充実強化期間」は令和3年度に終了するため、貨物拠点化推進と併せて、アフターコロナを見据えた路線誘致や路線定着を目指すため、「強化期間継続」の必要がある。